

消防費

防災ハザードマップ策定事業
地震危険箇所調査を



北海道胆振東部地震から、地震における危険箇所の調査、周知が必要では。

答 地震の危険箇所とともに、どのような対応が町民の生命を守るのかを検証する。

民生費

放課後児童クラブ管理運営事業
職員体制の整備は



利用人数は増加しているが、賃金に執行残が見られる。体制はしっかりと整えられているか。

答 平常時は2名、夏季、冬季休暇時は3名体制とし、問題は見られていない。

民生費

保育所広域入所負担金
広域入所の人数が増えた理由は



町内に保育所があるなか、広域入所児数が増加している。その理由は。

答 年度途中の転入者の申し込みが受入れ枠を超えていたことや、転入後も転入前の保育所を希望する方がいた。

民生費

子育て支援センター管理運営事業
ちやつぶるの利用数の減少理由は



ちやつぶるの利用が減少しているが、その要因は。

答 利用実績は18%減少している。その主な原因は雨の日が続いたなど天候が大きく影響していると分析している。

農林水産業費

酒米粉活用研究事業
高品質開発の進捗状況は



酒米粉の甘味料について特許を出願した進捗状況は。

答 甘味料としての一次製品は完成している。今後は、甘味料を使用し、甘味料を開発して製造メーカーと連携して製品開発につなげていく。

農林水産業費

学園牧場維持管理経費
牧場運営の健全運営を目指すべき



収入が26万円に対し、経費が270万円という状況。健全運営を目指した対策は。

答 費用対効果が低い。畜産農家のために必要性が高いと考える。少しでも健全経営に向け、畜産振興協議会と協議をしていく。

農林水産業費

農産物ブランド化推進協議会負担金
ブランド認定や推奨マークの検討結果は



事業計画で6次産業化に興味を示す農業者との情報交換、ブランド認定や推奨マークの方向性を検討するにあつたが、その検討結果は。

答 6次産業化には興味があつても、踏み出せない状況と聞く。ブランド認定、推奨マークの在り方を協議会で検討中である。

商工費

観光資源発掘事業
北大生による観光資源発掘事業の成果は



北大生による観光資源発掘事業が3か年で終了した。今後の観光振興にどう活かすのか。

答 他の市町村と比べ特化したものが少ないこと、農産品もまだ活用されていないとの結果になった。今後は、体験型観光、地元住民との交流観光など他のまちと差別化を図っていく。

商工費

地元消費拡大事業
ポイントカード会にも町の支援を



ポイントカード会の運営が大変厳しい状況。商品券会同様にポイントカード会への支援を考えると。

答 ポイントカード会、商工会とも協議をしながら、町としてどのような支援をすべきか検討する。

商工費

イベント開催支援事業
イベント主催者に観光協会からの助成を



町の活性化に向け、町内でイベントをしたいという団体等に観光協会が一定の助成を考へては。

答 現行の条例等も含め、支援の方法を検討していきたい。

商工費

奈良県・十津川村三者協定PR事業
奈良県で本町の特産品を販売した状況は



本町と十津川村の間に、どの程度関係性がどの程度あるのか。本町の特産品を奈良県で販売した際の状況は。

答 奈良県と十津川村との関係は、今もなおPRしていく。